

**「連結決算実務検定」
「経理・財務スキルデータベース」**

パイロットテスト説明会

2016年2月12日

「連結決算実務検定」

検定試験の概要

連結決算実務検定のご説明

1. 背景

連結決算担当部員にアサインした業務に対して、スキルが十分に達していないというお悩みを良く伺います。

これは、連結決算業務について、スキルの到達度合いを評価する制度が存在していないことが一つの原因と考えられます。

連結決算については、『日商簿記検定 2 級』の出題範囲になりますが、連結決算業務に焦点を絞ったものではありません。

そこで、この度、一般社団法人日本CFO協会では、連結決算業務の従事者の実務能力を評価し、担当業務とスキルのギャップが解消されることを目的とする実務的な検定として「連結決算業務実務検定」をスタートさせます。

2. ご利用対象者

(1). 連結決算業務のご担当者：

受検目的は、連結決算業務に対して、どの作業について弱点があり、どの業務について自信をもってよいかの判断材料となります。

(2). 連結決算業務を管理する方（経理課長や経理部長など）：

この方々は、自ら受検するのではなく、自らが使用する経理部員や子会社決算担当者が、連結決算業務のうち、どの業務の遂行能力があるのかを把握する目的で、経理部員や子会社決算担当者に対して「受検を促すこと」が想定されます。

(3). FASS検定のハイスコア取得者：

経理・財務スキル検定（FASS）でハイスコア（A／Bレベル）を取得されている方で、連結決算業務に特化したスキルアップを目指すことができます。

3. 特徴

単なる「**合否判定**」ではありません。

連結決算プロセスで、通常業務分担が行われる「業務単位」ごとに習熟度を判定します。

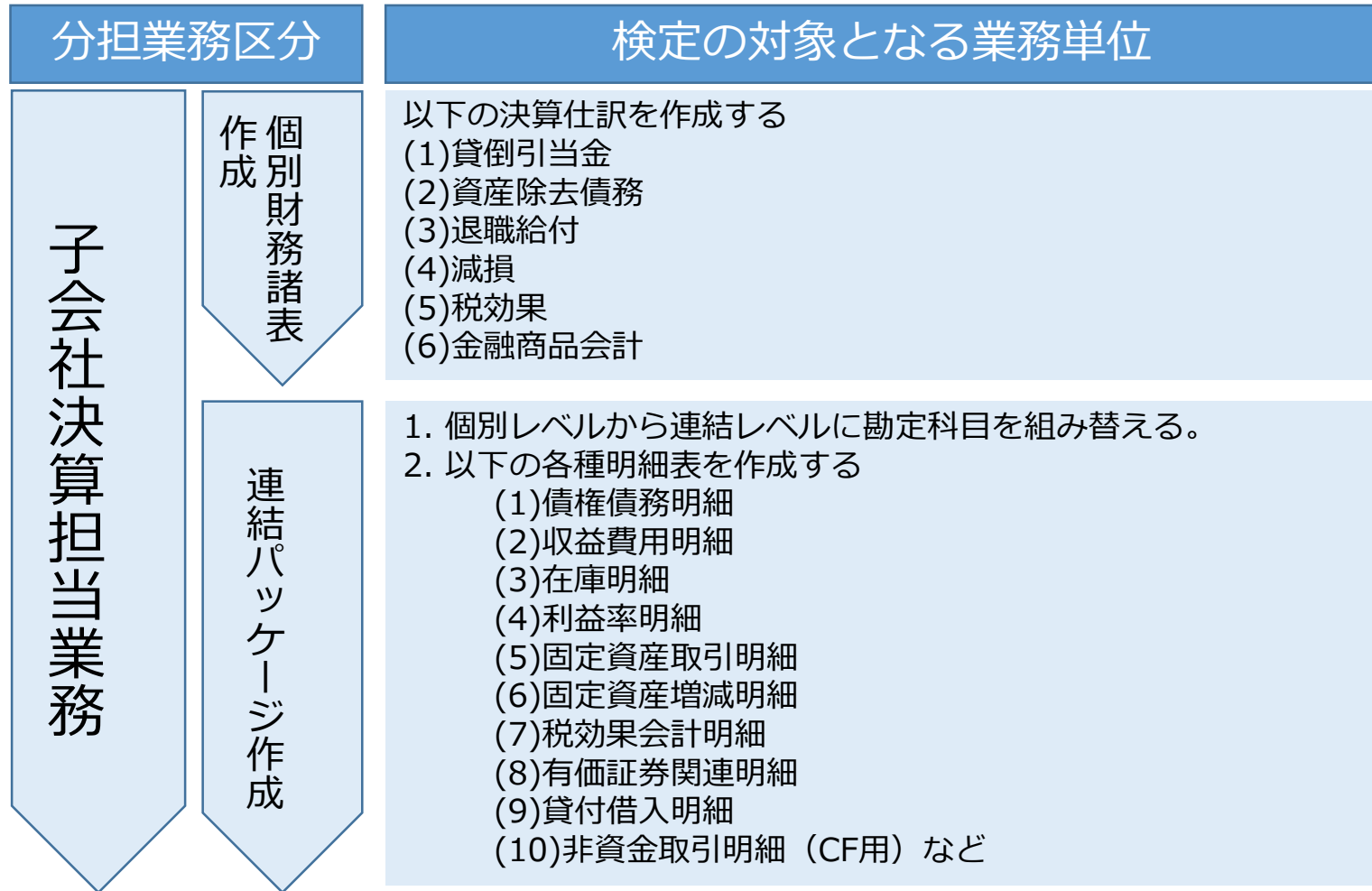
したがって、

『債権債務の消去仕訳』の実務はできるが、
『棚卸資産の未実現損益の消去仕訳』の実務はできない

という結果が得られます。

いわば、「**健康診断表**」に近いイメージです。

3. 特徴



3. 特徴

分担業務区分

検定の対象となる業務単位

親会社連結決算担当業務

個別財務諸表
チェック

子会社から収集した個別財務諸表に対して以下のチェックを行う

- (1)貸借一致
- (2)剰余金期首期末一致
- (3)異常値確認
- (4)基本FSと各明細の一致
- (5)在外子会社の外貨建て財務諸表の換算
- (6)為替換算調整勘定分析など

合算表
作成

1. 換算後の個別財務諸表から単純合算表を作成する
2. 合算表レベルの増減分析を行う

連結仕訳作成

1. 以下の修正仕訳を作成する
 - (1)会計処理の差異
 - (2)処理タイミングのズレ
 - (3)決算日ズレ
 - (4)限定意見（誤謬）
2. 以下の連結消去仕訳を作成する
 - (1)債権債務
 - (2)収益費用
 - (3)棚卸資産の未実現損益消去
 - (4)固定資産の未実現損益消去
 - (5)貸倒引当金の調整仕訳
 - (6)投資資本の消去仕訳

試験問題例

子会社決算担当業務

① 問題 退職給付会計の会計方針の決定について、下記の()内に当てはまる語句は何か。最も適切な組合せを選べ。

従業員数が(A)未満の企業については、小規模企業等における簡便的な方法を用いて、退職給付計算を行う事ができる。
なお、親会社の従業員数が(A)以上の場合、子会社では(B)。

- 選択肢 1) A: 100人 B: 親会社の会計方針に関わらず、簡便的な計算を行うことができる
2) A: 300人 B: 親会社の会計方針に関わらず、簡便的な計算を行うことができる
3) A: 100人 B: 親会社の会計方針と統一し、簡便的な計算を行うことができない
4) A: 300人 B: 親会社の会計方針と統一し、簡便的な計算を行うことができない

会計基準の基本的な知識

⑥ 問題 以下の資料に基づき、下記の各問に答えなさい

【資料】

当社は確定給付の企業年金制度を採用している（一時金の支払いはないものとする）。
 数理計算上の差異は発生翌期から費用処理を行う（前期までに発生していない。）

年期数理人から入手した退職給付債務のデータ等

・貸借対照表日における退職給付債務（前期）	250,000 千円
・勤務費用（当期）	2,000 千円
・貸借対照表日における退職給付債務（当期）	251,500 千円

信託銀行から入手した年金資産のデータ等

・年金資産の時価（前期）	100,000 千円
・年金資産の時価（当期）	104,500 千円

その他のデータ

・前期末時点の割引率	1%
・前期末時点の長期期待運用収益率	3%
・当期の年金基金からの支払額	3,000 千円
・当期の年金基金への拠出額	4,000 千円

簡単な計算処理

問1 損益計算書に計上される「退職給付費用」の金額として、最も適切なものを選び。

選択肢	1)	1,500 千円
	2)	2,000 千円
	3)	4,500 千円
	4)	7,500 千円

問2 貸借対照表の固定負債に計上される「退職給付引当金」の金額として、最も適切なものを選び。

選択肢	1)	147,000 千円
	2)	150,000 千円
	3)	147,500 千円
	4)	150,500 千円

問題 以下の文章を読み、各問に答えなさい。なお、勘定科目名は次のルールに従って表記されている。

ルール：

「売上（A社、B社）」・・・A社が売上を計上しており、その相手先はB社である。

「棚卸資産（C社、D社）」・・・C社が棚卸資産を計上しており、その仕入先はD社である。

なお、税効果会計は考慮しない。

連結決算日前に親会社が子会社に向けて送金したが、連結決算日現在、子会社に到達していない場合には、（ A ）として処理しなければならない。
例えば、親会社 P 社が、連結決算日である3月31日より前に100%子会社 A 社に現金10,000を送金したが、3月31日時点において A 社に到達していない場合には以下の仕訳が必要となる。

（ B ）

そして、その上で、債権債務の相殺消去仕訳として、以下の仕訳が必要となる。

（ C ）

問1 （ A ）にあてはまる語句として最も適切なものを選べ。

- 選択肢
- 1) そもそも送金自体が無かったもの
 - 2) 送金が子会社に到達しているもの
 - 3) 特に調整をせずそのままの形
 - 4) 子会社が送金額を返金したもの

問2 （ B ）にあてはまる仕訳として最も適切なものを選べ。

- 選択肢
- 1) (借) 現金 (A社、P社) 10,000 (貸) 借入金 (A社、P社) 10,000
 - 2) (借) 貸付金 (P社、A社) 10,000 (貸) 借入金 (A社、P社) 10,000
 - 3) (借) 貸付金 (P社、A社) 10,000 (貸) 現金 (P社、A社) 10,000
 - 4) (借) 借入金 (A社、P社) 10,000 (貸) 貸付金 (P社、A社) 10,000

問3 （ C ）にあてはまる仕訳として最も適切なものを選べ。

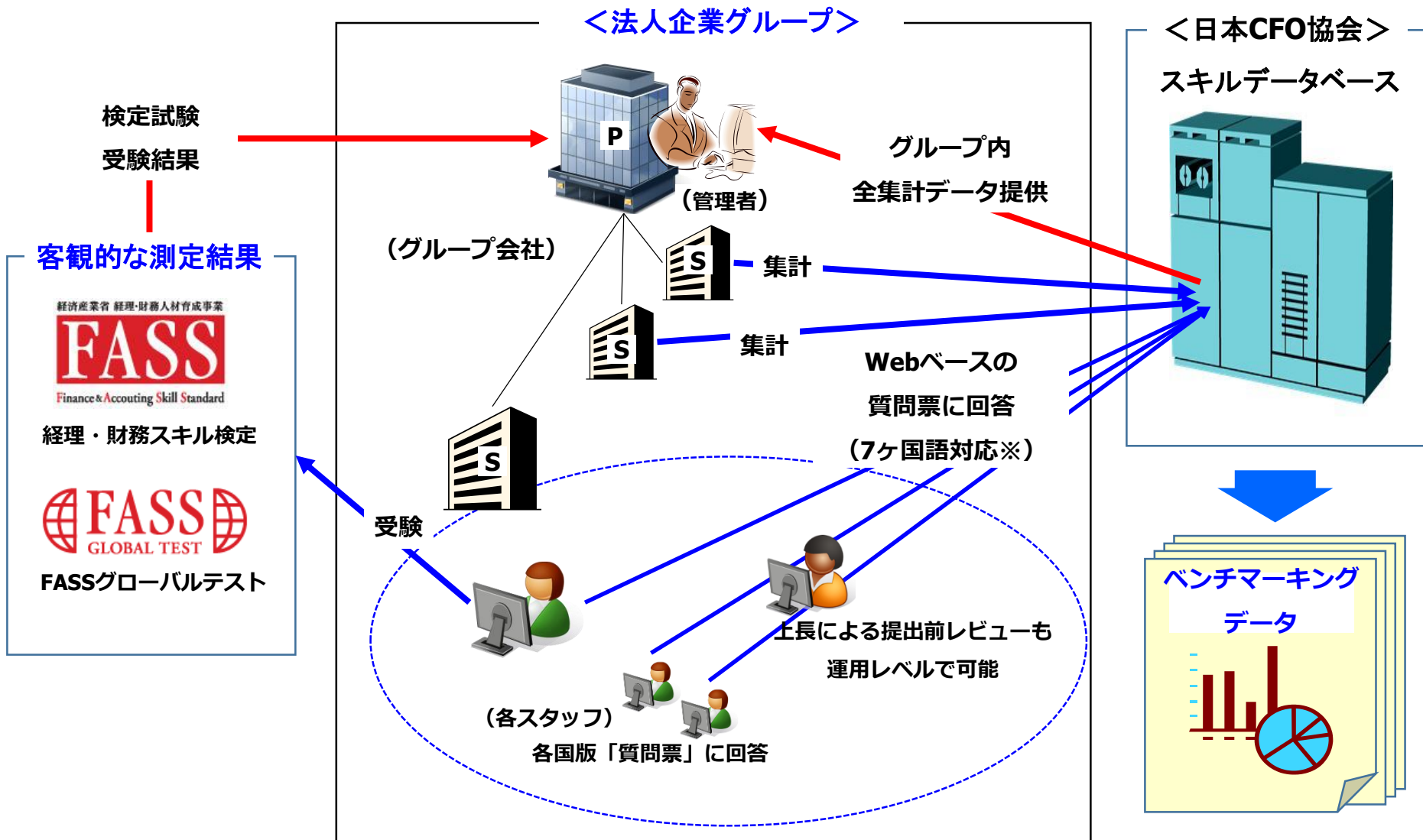
- 選択肢
- 1) (借) 現金 (A社、P社) 10,000 (貸) 借入金 (A社、P社) 10,000
 - 2) (借) 貸付金 (P社、A社) 10,000 (貸) 借入金 (A社、P社) 10,000
 - 3) (借) 貸付金 (P社、A社) 10,000 (貸) 現金 (P社、A社) 10,000
 - 4) (借) 借入金 (A社、P社) 10,000 (貸) 貸付金 (P社、A社) 10,000

一般的な知識にとどまらない
実務的な対応を問う

「経理・財務スキルデータベース」

サービスの概要

「スキルデータベース」サービスの概要



「スキルデータベース」サービスの概要

販売取引管理

* 1. 日々の販売取引に対する経理処理手続きを行う業務

	自立的に業務を行うことができる	サポートを受けながら業務を行うことができる	業務を行うことができない
売上の計上	☐	☐	☐
債権残高管理	☐	☐	☐
滞留債権への対応	☐	☐	☐
値引や割戻への対応	☐	☐	☐
税務対応	☐	☐	☐
決済業務	☐	☐	☐
決済業務(外貨)	☐	☐	☐

使用言語	日本語／英語／中国語／韓国語／ベトナム語／インドネシア語／タイ語
対象業務	販売取引管理／購買取引管理／在庫管理／資産・財産管理／ 業績管理／制度決算・IR／資金管理

ご参考／スキルデータベースに関するアンケート結果①

2013年にFASS試験委員会の皆様に「グローバルスキルデータベース」について、改めてそのニーズや課題問題点についてアンケート形式にてご意見をいただきました。（回答会社数：28社）

【i】スタッフのスキルの現在の管理状況は以下のどれが近いですか？	回答数
☐ グループ会社の全スタッフもしくは全コア人材のスキルを一元的に把握している	4
☐ グループ各社単位では全スタッフもしくは全コア人材のスキルを一元的に把握しており、その管理方法は統一されている。	0
☐ グループ各社単位では全スタッフもしくは全コア人材のスキルを一元的に把握しているが、管理方法は現場に任せている。	15
☐ その他	

※その他※

- ・国内のコア人材のスキルはほぼ一元的に把握、一方海外については各社単位で実施
- ・各社共通的なスキルについて一元管理している
- ・海外については各拠点に一任している
- ・国内について一定のスキルのみ一元管理が行われている
- ・一元的に管理されていない

ご参考／スキルデータベースに関するアンケート結果②

【ii】管理することが必要とした場合、以下のどれがお考えに近いですか？		
対象範囲1(グループの範囲)		回答数
☐ 海外を含めたすべてのグループ会社で一元的に管理することが望ましい		12
☐ 主要なグループ会社のみ一元的に管理することが望ましい		13
☐ その他		
対象範囲2(スタッフの範囲)		回答数
☐ 海外ローカルスタッフを含めた全スタッフを対象に管理することが望ましい		17
☐ 全日本人スタッフを対象に管理することが望ましい		5
☐ その他		
職階について		回答数
☐ 管理職層のみで十分		4
☐ スタッフ層を含める必要がある		22
☐ その他		

※その他※

- ・ 目的によって異なる
- ・ 国内外共、一元管理するスキルを絞り込む必要がある
- ・ グループ標準を設定し管理は各社で行われることが望ましい
- ・ まずは国内会社からスタートし、段階的に海外まで含めた一元管理できることが望ましい
- ・ 在外会社の管理は現実的には難しい
- ・ 一定の階層のスタッフのみ一元管理することが望ましい

ご参考／スキルデータベースに関するアンケート結果③

【 iii 】管理する場合のメリットとしては次のどれを重視しますか？（複数回答可）	回答数
☐ 内部統制機能の強化	8
☐ 組織内の戦略的人材配置	23
☐ スタッフのモチベーション向上	10
☐ 適正な人事評価	8
☐ その他	

※その他※

- ・グループ会社の経理レベルの把握と弱点の強化
- ・人材育成

【 iv 】管理する場合に懸念される事項、課題と思われる事項はどれですか？（複数回答可）	回答数
☐ 社内全体でコンセンサスを得ることが難しい	8
☐ システム環境の構築が必要であり工数を要する	7
☐ 管理するスキル項目の定義が難しい	23
☐ 管理するスキル項目等のメンテナンスを継続できるか難しい	16
☐ 管理目的が曖昧となり形骸化してしまう	4
☐ スタッフのモチベーションに影響を与えてしまう	3
☐ 評価内容に関する公平性・客観性の維持が難しい	8
☐ 人事異動や組織変更等に伴うメンテナンスが煩雑である	5
☐ 対象とするスキル項目が陳腐化してしまう	5
☐ その他	

※その他※

- ・個人レベルによるスキル管理は運用が難しい
- ・個人情報との区別が難しい
- ・グローバルレベルで対象項目を統一できるか
- ・本来の目的を逸しレポート目的となってしまう懸念がある

「連結決算実務検定」 「経理・財務スキルデータベース」

パイロットテスト実施概要

「連結決算実務検定」パイロットテスト概要

実施時期	2016年3月1日（火）～3月31日（木）
実施方法	インターネット形式。実施期間中、インターネット環境下のパソコンにていつでもどこでも受験可能。
参加方法	ご回答いただく個別WebページのURLをご提供します。
試験問題数	未定
試験時間	60分（予定）
出題形式	択一形式
使用言語	日本語
出題範囲	子会社決算担当業務（個別財務諸表作成／連結RP作成） 親会社連結決算担当業務（個別RPチェック・分析／合算表作成／連結仕訳作成）
パイロットテスト結果のフィードバック	受験者様別の試験結果及びパイロットテスト全体の分析結果（試験問題の信頼性等）をご提供致します

「スキルデータベース」パイロットテスト概要

実施時期	2016年3月1日（火）～3月31日（木）
実施方法	インターネット形式。実施期間中、インターネット環境下のパソコンにていつでもどこでも受験可能。
参加方法	ご回答いただく個別WebページのURLをご提供します。
質問数	41問
所要時間	15分～30分程度
出題形式	択一形式
使用言語	日本語／英語／中国語／韓国語／ベトナム語／インドネシア語／タイ語（計7カ国語）
対象業務	販売取引管理／購買取引管理／在庫管理／資産・財産管理／業績管理／制度決算・IR／資金管理
パイロットテスト結果のフィードバック	ご回答いただいたデータをExcel形式にてご提供致します。

パイロットテストご参加にあたり

【プロフィールに関するアンケートへのご回答】

いずれのパイロットテストに関してもご参加いただくにあたり、ご参加者に以下のプロフィールに関する質問にご回答いただきます。

尚、「質問項目」は現在「経理・財務スキル検定（FASS）」にてご回答いただいている内容となります。

- 性別
- 年齢
- 学歴
- 資格
- 所属部門
- 役職
- 年収
- 業種
- 企業規模
- 経理・財務業務経験年数
- 業務分野別経験年数（資産・決算・資金・税務）
- 内部統制業務経験年数

【各プログラム内容に関するフィードバック】

パイロットテスト終了後、試験結果や収集データなどのご提供ののち、参加企業の皆様より是非、各プログラム内容に関する感想やご指摘などコメントをいただければと存じております。
フィードバック方法については追ってご連絡いたします。

説明会における主なQ&A

説明会における主なQ&A①

【連結決算実務検定】

- Q) 「子会社決算業務」と「親会社連結決算担当業務」の出題内容のバランスはどの様になるか？
A) 「子会社決算業務」と「親会社連結決算担当業務」はそれぞれ独立した試験として実施する予定です。
- Q) 受験に向けた学習用の教科書を発行する予定はあるか？
A) 予定していますが、試験対策用というよりも業務を学ぶための教科書を想定しています。
- Q) 試験の多言語対応の予定はあるか？
A) 具体的な検討はこれからとなりますが、まず「子会社決算業務」対応の英語版試験より対応していくものと想定しています。
- Q) 受験にあたり個別の受験ID（受験番号）等が発行されるのか？
A) 受験用の各社固有のURLをお渡しするので、そちらを各受験者にご案内ください。
- Q) 分析データを含む試験結果のフィードバックはいつ頃となるか？
A) パイロットテスト期間終了後、1～1ヶ月半くらいを想定しています。
- Q) 業種により業務がことなるがその点はどのように考えているか？
A) 経理・財務スキル検定（FASS）も同様であるが、あくまでも業種や規模などにとらわれない標準的な業務を対象とします。

説明会における主なQ&A②

【スキルデータベース】

- Q) スタッフにとって回答するメリットはあるか？
- A) 質問項目は標準的な業務に絞った内容なので、ご自身のキャリアアップについて検討、或いは上長とのコミュニケーションのにおける材料としてご利用いただきたいと思います。
- Q) スタッフの回答内容について上長のチェックは必要か？
- A) 当システムの仕組みとしてチェックプロセスは設けておりません。ご利用各社の運用にお任せ致します。
- Q) 選択肢の内容であると「知識」の有無を確認することができないのではないかと？
- A) あくまでも実務スキルに関する質問である。例えば、実務経験の無い上長のスキル評価はまた別の材料で評価すべきと考えます。

【プロフィールデータ】

- Q) プロファイルデータを集める目的は？
- A) 連結実務検定の試験結果／スキルデータベースの回答結果との分析を行うため活用させていただきます。
- Q) プロファイルデータも参加企業にフィードバックされるのか？
- A) 原則として行いません。但し希望があればご提供致します。
- Q) プロファイルに関する質問に回答しないとパイロットテストの受験或いは回答ができないのか？
- A) できません。質問への回答を必須とさせていただきます。